

人材養成に関する目的、教育研究上の目的

◆人材養成に関する目的

◇博士課程（後期課程）

1. 教育研究目的

神学研究科（後期課程）は前期課程と同様に、様々な世界において「良心を手腕に運用する人物」の育成を目的としている。具体的には、日本において、そして世界においてもユニークな一神教の教育研究機関として、キリスト教、イスラーム、ユダヤ教、あるいは一神教の分野における、幅広い視野を持ち高度な分析能力を身に付けたスペシャリスト及び研究者の育成を目指している。

2. 目指すべき人材（物）像

【神学】

神学研究科神学専攻博士課程（後期）は、様々な世界において「良心を手腕に運用する人物」の育成を目的としている。具体的には、日本において、そして世界においてもユニークな一神教の教育研究環境の中で、キリスト教の分野における、幅広い視野と知識を持ち高度な分析能力を身に付けた専門家及びキリスト教研究を牽引する研究者の育成を目指している。

【一神教研究】

神学研究科神学専攻博士課程（後期）は、様々な世界において「良心を手腕に運用する人物」の育成を目的としている。具体的には、日本において、そして世界においてもユニークな一神教の教育研究機関として、キリスト教、イスラーム、ユダヤ教という3つの一神教の分野における、幅広い視野を持ち高度な分析能力を身につけた専門家及び一神教研究を牽引する研究者の育成を目指している。

◆ディプロマ・ポリシー

【神学】

(知識・技能)

キリスト教及び関連分野についての高度で専門的な知識を習得し、キリスト教にかかわる複雑な諸問題に的確に対処し、複眼的な視点と厳密な研究方法をもって体系的・総合的に解明できる。(思考力・判断力・表現力)

問題解決に必要とされる文献・データと有効な研究方法を見定める判断力を備え、論理的な分析を一貫して行う思考力を持ち、その結果を博士論文に簡潔明瞭にまとめることのできる表現力を身につけている。

(主体性・多様性・協働性)

キリスト教に関する独自の課題を主体的に設定し、様々な先行研究を十分に咀嚼し、高度で専門的な知識と厳密な研究方法をもって論理的に考察し、自らの考えを国内外の研究者に積極的に発信し問題を共有しながら、解決に向かう推進力を持っている。

【一神教研究】

(知識・技能)

キリスト教、イスラーム、ユダヤ教という3つの一神教についての高度で専門的な知識を習得し、3つの一神教にかかわる複雑な諸問題に的確に対処し、複眼的な視点と厳密な研究方法をもって体系的・総合的に解明できる。(思考力・判断力・表現力)

問題解決に必要とされる文献・データと有効な研究方法を見定める判断力を備え、論理的な分析を一貫して行う思考力を持ち、その結果を博士論文に簡潔明瞭にまとめることのできる表現力を身につけている。

(主体性・多様性・協働性)

キリスト教、イスラーム、ユダヤ教という3つの一神教に関する独自の課題を主体的に設定し、様々な先行研究を十分に咀嚼し、高度で専門的な知識と厳密な研究方法をもって論理的に考察し、自らの考えを国内外の研究者に積極的に発信し問題を共有しながら、解決に向かう推進力を持っている。

◆カリキュラム・ポリシー

【神学】

キリスト教の分野における、幅広い視野を持ち高度な分析能力を身につけた専門家及び研究者を育成するため、「聖書学」、「キリスト教史学」、「組織神学」、「一神教学際研究」の4分野から構成されるコース指導科目と研究指導科目を設置する。学生への研究指導は、指導教員3名（主指導教員1名、副指導教員2名）によって行われる。指導教員の指導の下、学生は、学会での研究発表2本、学術雑誌への論文掲載2本、博士学位論文の作成を進める。

・キリスト教及び関連分野に関する高度で専門的な知識を習得するため、「聖書学」、「キリスト教史学」、「組織神学」、「一神教学際研究」の4分野から構成されるコース指導科目の中から「演習Ⅰ」「演習Ⅱ」をそれぞれ6単位以上履修する。(知識・技能、思考力・判断力・表現力)

・キリスト教及び関連分野に関する高度な研究力を養うため、「聖書学」、「キリスト教史学」、「組織神学」、「一神教学際研究」の4分野から構成される研究指導科目のうちの3分野を選定し、博士学位論文提出までに各科目指導担当教員による研究指導完了（見込み）を受ける。(知識・技能、思考力・判断力・表現力)

・キリスト教に関する高度で専門的な知識と研究力、それに厳密な研究方法をもって自ら設定した独自の課題を考察できるようになり、研究者、教育者、専門家として指導的な役割を果たすことができるようになるため、主指導教員と2名の副指導教員の下、博士学位論文を作成する。また、博士学位論文を提出するためには、学会での研究発表2本、学術雑誌への論文掲載2本が必要となる。(知識・技能、思考力・判断力・表現力、主体性・多様性・協働性)

【一神教研究】

キリスト教、イスラーム、ユダヤ教という3つの一神教の分野における、幅広い視野を持ち高度な分析能力を身につけた専門家及び研究者を育成するため、「聖書学」、「キリスト教史学」、「組織神学」、「一神教学際研究」の4分野から構成されるコース指導科目と研究指導科目を設置する。学生への研究指導は、指導教員3名（主指導教員1名、副指導教員2名）によって行われる。指導教員の指導の下、学生は、学会での研究発表2本、学術雑誌への論文掲載2本、博士学位論文の作成を進める。

・キリスト教、イスラーム、ユダヤ教という3つの一神教に関する高度で専門的な知識を習得するため、「聖書学」、「キリスト教史学」、「組織神学」、「一神教学際研究」の4分野から構成されるコース指導科目の中から「演習Ⅰ」「演習Ⅱ」をそれぞれ6単位以上履修する。(知識・技能、思考力・判断力・表現力)

・キリスト教、イスラーム、ユダヤ教という3つの一神教に関する高度な研究力を養うため、「聖書学」、「キリスト教史学」、「組織神学」、「一神教学際研究」の4分野から構成される研究指導科目のうちの3分野を選定し（「一神教研究学際研究」は必修）、博士学位論文提出までに各科目指導担当教員による研究指導完了（見込み）を受ける。(知識・技能、思考力・判断力・表現力)

・キリスト教、イスラーム、ユダヤ教という3つの一神教に関する高度で専門的な知識と研究力、それに厳密な研究方法をもって自ら設定した独自の課題を考察できるようになり、研究者、教育者、専門家として指導的な役割を果たすことができるようになるため、主指導教員と2名の副指導教員の下、博士学位論文を作成する。また、博士学位論文を提出するためには、学会での研究発表2本、学術雑誌への論文掲載2本が必要となる。(知識・技能、思考力・判断力・表現力、主体性・多様性・協働性)

神学研究科

神学専攻（一神教学際研究コースを含む） 2016年度以降生

	登録コード		科目名	主 題	担 当 者	単位	期間
	科 目	クラス					
研究指導科目	40110211		神学特殊研究 I	聖書学 (A)	越後屋 朗		春・秋学期
	40110212		神学特殊研究 II	聖書学 (B)	石 川 立		春・秋学期
			神学特殊研究 III	聖書学 (C)	(本年度休講)		
	40110214		神学特殊研究 IV	キリスト教史学 (A)	村 上 み か		春・秋学期
			神学特殊研究 V	キリスト教史学 (B)	(本年度休講)		
			神学特殊研究 VI	キリスト教史学 (C)	(本年度休講)		
	40110217		神学特殊研究 VII	組織神学 (A)	小 原 克 博		春・秋学期
	40110218		神学特殊研究 VIII	組織神学 (B)	水 谷 誠		春・秋学期
			神学特殊研究 IX	組織神学 (C)	(本年度休講)		
			神学特殊研究 X	組織神学 (D)	(本年度休講)		
			神学特殊研究 XI	組織神学 (E)	(本年度休講)		
			神学特殊研究 XII	組織神学 (F)	(本年度休講)		
			神学特殊研究 XIII	一神教学際研究 (A)	(本年度休講)		
			40120224	神学特殊研究 XIV	一神教学際研究 (B)	Ada COHEN	
コース指導科目	40130301	001	演習 I ①		越後屋 朗	2	春学期
	40130301	002	演習 I ②		石 川 立	2	春学期
			演習 I ③		(本年度休講)		
	40130301	004	演習 I ④		小 原 克 博	2	春学期
	40130301	005	演習 I ⑤		水 谷 誠	2	春学期
			演習 I ⑥		(本年度休講)		
	40130301	007	演習 I ⑦		Ada COHEN	2	春学期
	40130301	008	演習 I ⑧		村 上 み か	2	春学期
			演習 I ⑨		(本年度休講)		
			演習 I ⑩		(本年度休講)		
	40130302	001	演習 II ①		越後屋 朗	2	秋学期
	40130302	002	演習 II ②		石 川 立	2	秋学期
			演習 II ③		(本年度休講)		
	40130302	004	演習 II ④		小 原 克 博	2	秋学期
	40130302	005	演習 II ⑤		水 谷 誠	2	秋学期
			演習 II ⑥		(本年度休講)		
	40130302	007	演習 II ⑦		Ada COHEN	2	秋学期
	40130302	008	演習 II ⑧		村 上 み か	2	秋学期
			演習 II ⑨		(本年度休講)		
			演習 II ⑩		(本年度休講)		
	40100201		論 文				

主指導教員の指導のもと、上記研究指導科目から3分野を登録し、指導を受けなければならない。

また、コース指導科目のうち、「演習 I」・「演習 II」からそれぞれ6単位以上履修すること。

※「神学特殊研究」と「演習 I」・「演習 II」は、同じ教員のものを同時に登録すること。

※「神学特殊研究」は、各年度に登録できるのは2科目までである。

神学研究科

神学専攻（一神教学際研究コースを含む） 2007～2015年度生

登録コード		研究指導科目	主 題	担当者
科目	クラス			
40110211		神学特殊研究Ⅰ	聖書学（A）	越後屋 朗
40110212		神学特殊研究Ⅱ	聖書学（B）	石川 立
		神学特殊研究Ⅲ	聖書学（C）	（本年度休講）
40110214		神学特殊研究Ⅳ	キリスト教史学（A）	村上 みか
		神学特殊研究Ⅴ	キリスト教史学（B）	（本年度休講）
		神学特殊研究Ⅵ	キリスト教史学（C）	（本年度休講）
40110217		神学特殊研究Ⅶ	組織神学（A）	小原 克博
40110218		神学特殊研究Ⅷ	組織神学（B）	水谷 誠
		神学特殊研究Ⅸ	組織神学（C）	（本年度休講）
		神学特殊研究Ⅹ	組織神学（D）	（本年度休講）
		神学特殊研究Ⅺ	組織神学（E）	（本年度休講）
		神学特殊研究Ⅻ	組織神学（F）	（本年度休講）
		神学特殊研究Ⅼ	一神教学際研究（A）	（本年度休講）
40120224		神学特殊研究Ⅽ	一神教学際研究（B）	Ada COHEN
40100201		論文		

※2010年度以降生については、「神学特殊研究」は、各年度に登録できるのは2科目までである。

1. 学位取得要件

下記の要件をすべて充足する必要があります。

- (1)博士課程（後期課程）に3年以上在学すること。
- (2)博士学位論文を提出し、最終試験（博士学位論文総合試験）に合格すること。
- (3)研究に必要な外国語によく通じていること。

2. 博士学位取得要領

(1)指導教員・論文想定題

- 1) 指導教員3名を決定する（主指導教員1名、副指導教員2名）。
- 2) 主指導教員との相談の上で論文想定題を決定する。
- 3) 4月下旬までに、指導教員3名、論文想定題を神学研究科事務室に届け出る。
- 4) 論文想定題及び指導教員の変更は、主指導教員の了解を得た後に、神学研究科事務室に届け出る。
- 5) 論文は日本語で作成する。ただし、指導教員がその必要性を認めた場合、研究科委員会の承認を経て英語による論文作成が認められる。

(2)研究指導

- 1) 研究指導は、主指導教員を中心にして、3名の指導教員の指導のもとで行われる。
- 2) 研究指導は、主指導教員が、下記「(3)研究指導科目」の履修状況を含め、総合的に判断して、指導完了とした時点で終わる。

(3)研究指導科目

- 1) 博士学位論文提出までに、主指導教員の指導の下、各年度に履修が必要な科目を決定し、登録した上で、科目担当教員から研究指導を受けなければならない。2010年度以降生については、各年度に登録できるのは2科目までである。
- 2) 研究指導を受ける科目は、「聖書学」「キリスト教史学」「組織神学」「一神教学際研究」の4分野のうちの3分野から選定する。ただし、神学専攻一神教学際研究コース生は、「一神教学際研究」を含むものとする。
- 3) 博士学位論文提出までに、3分野にわたって科目の研究指導を受け、各科目担当教員による研究指導が完了または完了見込みとなる必要がある。

(4)コース指導科目（2016年度以降生）

- 1) コース指導科目のうち「演習Ⅰ」「演習Ⅱ」からそれぞれ6単位以上履修すること。
- 2) 各年度に登録できる単位数は8単位までである。

(5)博士学位論文提出資格審査

- 1) 博士学位論文を提出するためには、研究指導科目の研究指導の完了（見込み）の他に、学会での研究発表2本、学術雑誌への論文掲載2本、さらに主指導教員による研究指導の完了（見込み）が必要である。2016年度以降生は加えてコース指導科目の履修済（見込み）が必要である。
- 2) (5)の1)の要件を満たせば、神学研究科委員会後期課程分科会は、博士学位論文提出のための資格審査を行う。必要に応じて、後期課程担当教員以外の教員も陪席する。

(6)博士学位論文審査

- 1) 博士学位論文の審査には、論文提出から通常で6ヶ月程度の期間が必要である。
- 2) 審査の最終段階で、博士学位論文総合試験を実施し、論文提出者による口頭発表、論文内容に関する質疑応答や口述試験、及び研究に必要な外国語に関する学力確認を行う。
- 3) 神学研究科委員会は、後期課程分科会より論文内容、審査結果、総合試験の結果についての報告を受け、博士学位授与を審議する。

(7)博士学位論文審査基準

- 1) 研究テーマおよび問題設定の学術的意義が明確に示されているか。
- 2) 関連する先行研究を十分に調査し、理解したうえで、適切な研究方法を選択しているか。
- 3) 一貫した論述が展開され、明確な論拠のもとに適切な結論を導き出せているか。
- 4) 結論が独自の新たな知見を提示し、当該研究が将来の学問的進展を促進するものであるか。
- 5) 学術論文としての倫理的・形式的要件を満たしているか。

(8)学位授与

研究科長会の承認を経て、博士（神学）（同志社大学）または博士（一神教研究）（同志社大学）の学位が授与される。

(9)博士論文の公表

博士学位授与が決定した者は、同志社大学学術リポジトリにて公表する。

※この要領は2007年度生より適用する。

※(5)の1)における学会での研究発表、学術雑誌への論文掲載については、2006年度以前生にも望ましいものとして推奨する。

3. その他

- (1)入学式後の「博士学位論文についての説明会」に必ず出席してください。
- (2)登録の具体的要領については別冊『神学研究科登録要領』を参照してください。
- (3)「神学部研究室図書貸出規程」および「学会発表に対する交通費等の補助」については、本履修要項の神学研究科博士課程（後期課程）のページを参照してください。

4. 神学研究科 博士課程（後期課程）入学から博士学位授与までの流れ

